

(別紙4(2))

グループホームかがやき

作成日: 令和2年 7月 27日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	認知症サポーター養成講座等の開催や、併設されているクリニックの患者様の認知症の介護をされている方の相談など行ってきたが、なかなか認知症の方々の理解や支援へとつながっている実感がない。	認知症の相談をされた際、地域包括への働きかけのみで終わってしまうのではなく、認知症の理解が難しいと思われる際は、認知症の理解につながる勉強会などを開催する。	現在、新型コロナウイルスの感染予防の為、大人数での勉強会開催は難しいが、個別での相談ができるような、呼びかけ、アピールをして気軽に相談でき気軽に認知症が学べる施設を目指す。	12ヶ月
2	27	職員に外国人が多くなってきており、日々状況の記載はあるものの、なかなか日々の気づきまでの記載ができていなく、日々に変化があっても日々記録が記載されていない事があり、認知症状の悪化などの変化が読み取れない。	外国人職員の書面記載の必要性の理解を勉強会などを開催して行う。日本人の職員に関しても日々記録の大切さが理解できていない人もいるので、勉強会を行い、利用者の状態変化を把握する。	介護記録の書き方の勉強会を行う。記入例を出し、なぜ必要か？の理解を深める。良い記載例や、悪い記載例の具体例を出して、記載例の統一を行う。外国人の職員に関しては、個別に行いしっかりと理解してもらう。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。